

# 福島県岩瀬郡天栄村白子方言の アスペクト

飯豊 毅一

## I. はじめに

- (1) 調査対象地：岩瀬郡天栄村白子は、当村の大字の一つである。戸数約150（天栄村は約1600戸）、米麦等の穀物中心の農村であるが、野菜の栽培も一部の地区で行われている。薪炭業は現在はすたれた。白河市の北方約15キロ、会津若松市の東南約40キロ、旧会津街道（茨城街道）すじに位置する。柳田国男の「勢至堂峠」はこの道を通って白河に達する紀行文で、「豆の葉と太陽」に収められている。
- (2) 調査年月日時：①1994年9月22日午前10時～午後5時30分  
②同9月23日午後1時10分～午後5時20分
- (3) 話者：兼子隆雄 大正9年8月28日生（74歳） 農業  
兼子タイ 大正5年4月23日生（79歳） 農業  
飯豊睦雄 昭和5年8月4日生（64歳） 教員
- (4) 調査者・調査場所：飯豊毅一、ともに話者宅
- (5) 調査方法・調査の状況：隆雄宅は孫（幼児）がしばしば顔を出すのと当主（子）が挨拶に来たのを除いて、閑静な環境であった。白子中屋敷46に居住。睦雄宅は郡山市郊外の住宅で、白子中屋敷48より転居して2年になる。
- (6) 表記方法：カタカナ書きとする。ke、se、je は、け・せ・いえとする。無アクセント地帯であるが、高い音調に線を引く。しかしこれは、話者の気分によりかなり変動があると承知されたい。

## II. 調査結果

1. よく行ったものだね ①ヨダ イツタツタナー（タツタは反復経験をさすことが多いが、過去の経験を述べることもある）／②イツタツタダ 断定の意加わる。／③イツタツタツケ 回想の意加わる。
2. おもしろかったなあ ①オモシエガツタナー／②オモシエツケナー 年よりに多い。／③オモシエガツケナー 若者に多い。／④オモシエガツタツケナー（②③は他の行為について述べる時、自分の行為については用いない。④は自他を含めて述べられる。
3. 落ちるところだった ①オジツパグツタ（直訳すれば、落ちそこねたに該当するが、プラス・マイナスどちらにも使用する。）／②オジツトゴダツタ
4. 落ちそうだよ ①オジバグツテツツォ／②オジツツォ 落ちるよ、落ちそうだよ

- ／③オジガガッテツォ／④オジツトゴダゾ
5. 財布を落して ①セーフホロッチマツテ／②セーフホロッチャツテ（①が古い言い方、②は新しい言い方だが、現在の若い人はほとんど②を使う。）
6. 困っている ①アマッテル／②アマツタダ／③アマツタアマツタくりかえして言う／④ウチダレサゲデル（直訳はしょんぼりしている。）
7. 消えそうだよ ①ケッチマー、ケッチマー（単独でもいいが、くりかえした方が臨場感がある）／②ケーソーダ
8. 消えようとする時 ①ケッチマー、ケッチマー／②ケニル、ケニル
9. 消えた瞬間 ①ケッチマツタ／②ケッチマツタダ他に話す時
10. 消えていたよ ①ケーデダソエ
11. 消え始めた ①ケーハジメダ／②ケーガガツタ
12. 消えていくなあ ①ケーデダナー／②ケーデダワイ
13. 消えているよ ①ケーデダソ／②ケーデダナー
14. 消えているよ ①ケーデル／②ケッチマツタ／③ケージマツタ／④ケーチャツタ（②③④のうち②が多く、④は現代風であり若い人に多い。）
15. 消しているよ ①ケシデル／②ケシデダソ
16. 消しているか ①ケシデル／②ケシデアツカ／③ケシデアツカ
17. 散りそうだよ ①チリソーダ／②チッチマー（人に言う時。）
18. 散り始めた ①チリハダツタ（ハダツは始める意）／②チリハジメダ新しい言い方／③チッテキタ
19. 散っている ①チッテル
20. 散っている ①チッチマツタ／②チッテル
21. 散っている ①チッテル／②チッテアル／③チッテオジデル
22. 降りそうだよ ①フリソーダ／②フットゴダ／③アヌフツツォ（人に言う時。）
23. 降りそうだった ①フットゴダツタ／②フルバツカリダツタ／③フルミデーダツタ／④フリソーダツタ
24. 降っていたよ ①フッデダナー
25. 明けようとしていたよ ①アゲツトゴダツタ／②アゲツペドオモツタツタ
26. 建てている ①タデデル／②タデデツカラ
27. 建てている ①タデデツカラ／②タデチマツテル
28. 磨いてある ①ミゲーデル／②ミゲーデル（磨くという表現はあまり用いない。一般には拭いているという。）／③フイデアンナー
29. ないている ①ホエデル／②ナエデル（年よりは①が多いが、若年は②が多くなっている。）
30. ないている ①ナエデル／②ホエデル／③ホエデケツガル（①が多いが、見下し

た言い方②③がある。)

31. 喧嘩している ①ケシカシテル
32. いるかなあ ①イッカナー／②イバーガナー
33. いるか ①イッカー／②イダガー／③イッカイ／④イダガイ (①より②が多い。  
③④は①②よりやや目上の感じ。③より④が多い。)
34. いるよ ①イダー／②オレ イダッペ／③イッツォー／④イッツォイ／⑤イダゾー  
ー／⑥イダアイ
35. いるよ ①イダー／②イダッペ／③イッツォー／④イッツォイ／⑤イダゾー／⑥  
イダアイ
36. していたか ①ヤッテタノ／②シテダー／③シテタダ
37. 見ていたよ ①ミデタ／②ミデタダ／③ナガメデタッペ
38. 死にそうだ ①シヌ下ゴダ
39. 死んでいたよ ①シンデタ (ヨ) (この時シンダッタは使わない。反復の行為や  
経験の行為にタッタが用いられる。釣ったった、住んでいたった等。)
40. 読み始めていた ①ヨミハジメデタ／②ヨミハダッタ下ゴダッタ／③ヨミガデ  
ダ
41. 読み始めたところへ ①ヨミハダッタ下ゴサ／②ヨミハジメデタ下ゴサ／③ヨミ  
ガデデタ下ゴサ
42. 着くと同時に～した ①ツイダ下ゴサ／②ツイダバッカリニ／③ツイダトダンニ  
／④ツイデジギニ
43. 着くと同時に ①ツイダラジギニ／②ツイダ下ダン
44. 鳴りつづけている ①ナリッパナシタッタ／②ヒッキリナシ三ナッテタ
45. しているか ①ナニシテンダンベ／②ナニシテンノ／③ナニシテンダ (①ベを用  
いて敬意を示す。②はノを用いてやわらかくいう。③は親しさを示すが、場合により  
失礼になる。)
46. 好きだ ①ダイスギタ／②スギタ
47. 見られているのも ①ミラッチェルノモ／②ミラレデンノモ (流れて、くれて、  
見られて等、レテにあたる部分は～ッチェと発音されることが多い。)
48. (運動会が)ある ①アル／②(を)ヤッテル／③ヤッテル
49. よかったよ ①エガッタ／②フンねクテ エガッタナー／③フンねクテ エガッ  
タナイ (人に言う時)
50. 来つゝある ①キテル
51. 来つゝある ①キテル／②クル／③クッツォー (③は他人に知らせる時。)
52. 似ている ①ニデル
53. 来ている ①キテル／②キテッツォー／③キテッツォイ

54. 苦勞していない ①クローシテねー／②クローシダゴドねー
55. 苦勞しないでいる ①クローシねーデイル
56. ～は売っているが、～は売っていない ①ウツテッゲンジモ（多）／②ウツテッ  
ケンジエモ（隣地区に多い）／③ウツテッギンジエモ（少）／④ウツテッゲド（若者  
に多い。）Ⅱ①ウツテねー／②ウツテねーダ
57. 売っている ①ウツデル／②ウツテイルダ
58. 売っている ①ウツデル／②ウツテツツォー
59. （三回ほど）来ている ①キデル／②キテンダ／③キデルダ（若い人に多い。）  
／④キテツツォー／⑤キタツタ（しいて言えばタツタと言えるが、三回と数が限定さ  
れるとキテンダと言いやすい。）
60. 来ている ①キデル／②キテンダ／③キデダ
61. 来ていた ①キデダ／②キテダ
62. 行っている ①イッテダツケナー／②イッタツケー／③イッタツタワ／④イッ  
ル／⑤イッテンダ／⑥イッテツツォー
63. 行ってほしい ①イッテデクンチえー／②イッテデクナンショ／③イッテデクロ  
（①は朋輩に②は目上に③はやや目下に）
64. 待っていないさい ①マツチェロナー（目下）／②マツチェデクンロナー（目下）  
／③マツチェデクンチえー（朋輩）／④マツテラシえー（やや目上）／⑤マツテク  
ンショ（明らかに目上）
65. 待たせてあるよ ①マダシテツツォイ／②マダシテツカラ／③マダセデアツツ  
イ（③は若い人に多い。）
66. 食べておいておくれ ①ヒトンジェクツテデクンロ（目下）／②ヒトンジェク  
ツテデクンチえー（朋輩）／③ヒトンジェクツテデクレラシえ（やや目上）／④ヒト  
ンジェクツテデクナンショ（目上）
67. 違っている ①チガッテンチー
68. 違っていた ①チガッテダチー
69. 食べている ①クツデル／②クツテンダ／③クツデルダ（若い人に多い。）
70. している ①シデル／②シテンダ／③シデルダ（若い人に多い。）
71. 気をつけていて ①キーツカッテデ／②キーツケテデ
72. 行ったまま ①イッタキリ／②イッタツキリ（若い人に多い。）
73. ～しながら ①シャベリチガラ／②ハチシシーシー（若い人に多い。）
74. ～の途中で ①イギシナニ／②イギガガニ（若い人に多い。）
75. ～の途中で ①イグトチューデ／②イグトジューデ（若い人に多い。）
76. 途中でやめて ①トチューデヤメデ／②ヨミガデ（若い人に多い。）
77. ～したばかりだ ①ヨンダバツカリダ／②ヨンダバツカシダ／③ヨンダドゴダ

78. 無くなっている ①ねグナッテル／②ナグナッテル（本来①が多いが、だんだん②が多くなっている。）
79. 無くなるぞ ①ねグナツツォー／②ナグナツツォー／③ねグナツチマーゾ／④ナグナツチマーゾ（①②はゾをつけた言い方、③④はテシマウゾに対応する言い方）
80. 掛けておいた帽子 ①カゲドイタシャッポ／②カゲデオイダシャッポ／③カゲデアッタシャッポ／④カゲデダシャッポ（①②は掛けておくに対応する。③は掛けてあるに対応、④は掛けているに対応。）
81. 並んだ本 ①ナランダホン／②ナラन्दルホン（多）
82. 並べた本 ①ナラベダホン／②ナラベデダホン／③ナラベデアルホン／④ナラベデアッタホン／⑤ナラベデオイダホン／⑥ナラベデルホン
83. ～しておこうか ①ヨンデオツカ（ナ）／②ヨンデオツカイ／③ヨンデオグベガ（①は独語的、②は話しかけ的、③は逐語訳的）
84. やってあるか ①ヤッデアツカ／②ヤッデルカ／③ヤツタカ／④ヤツチマツタカ（①が逐語訳的、③④は少し意がずれる。）
85. 壊している ①ポッコシテツツォー／②ポッコシテンナー（①ブチコワシテルゾに対応する。②ブチコワシテルナである。）
86. 壊れている ①ポッコツチェツツォー（ブチコワレテイルゾに対応する。）／②ポッコツチェンナー
87. 壊されている ①ポッコワサツチェツツォー／②ポッコワサツチェンナー
88. のけてある ①ドゲデアアル／②ドカシデアアル
89. 書き終わった ①カギオワッタ／②カギアゲダ／③カイチマツタ（この時カイタツタは使わない。）
90. 書いてしまいなさい ①カイチめー（目下に）／②けーツチめー（ぞんざい）／③カイチマワシえー（やや目上）／④けーツチマワシえ（くだけたな言い方）／⑤カイチマイナンショ（目上に）／⑥けーチめーナンショ（ややくだけた）
91. 書いてしまう ①けーツチマー／②けーツチャウ（新しい言い方）／③カイツチマー（人による。古くからあった。）／④カイツチャウ（新しい言い方）
92. 書いてみた ①けーデミダ／②カイデミダ（①が普通だが、②の言い方も人によって使っていた。）
93. 入院している ①～シデル／②～シデイル（～シテオルは共通語を話す時に「妹が入院しております」などということがあるが、シヨルは全く使わない。）
94. 入院しているそうだ ①～シデルミでーダ（多い）／②～シデルラシイ（少ない）
95. よくなるよ ①エグナツツォー／②エグナツテイダゾ（ヨグナツツォーが普通であるが、しいて言えばよくなって行くが多いように思う。）
96. だんだんよくなるよ ①エグナツテイダゾ／②エグナツテグベー

97. 歳とると ①トシトッテグト／②トシトッテクルト（話者はいずれも行くを主張したが、飯豊はそれには反対で、くると言う。どうも人により違うらしい。）
98. なおらなくなるよ ①ナオラねグナッテグゾ／②ナオラねグナッテクツォ（人によってゆくとくるとを用いるに差があらわれる。）
99. (1) 犬が怪我したので ①ケガシタカラ  
 (2) こどもが怪我したので ①ケガシタカラ  
 (3) お父さんが怪我したので ①ケガシタカラ  
 (4) 雨が降ってきたので ①フッテキタガラ
100. (1) 降りつつある ①C／②Bを含めてもよい  
 (2) 増えつつある ①B  
 (3) 増やしつつある ①C

### III. 総括

全体としてよく整理されていると思ったが、東日本に居住するものとしては、少くとも形の上で区別あるものは区別してほしいと思う。

- ① 動詞・形容詞に直接につく「け」は「たっけ」と区別する。

○サッキ アフジサマ アルイテイグッケワ

は歩いて行くのを実際に見聞しているのをいう。自分の行為には言わない。

○トナリノサダワ ツイえっケチー

は隣の貞某が相撲で強かったのを見てきて報告しているのである。それがついさっきであるか一週間前であるかは問わない。自分の行為ではない。

- ② タッケは過去の事象を回想している時の表現で、自他の区別はなく第三者としての事象をとらえている。

○昔は ヨク ケンカシタッケチー

君とよくけんかしたっけというのは、おれがけんかをしたというのではなく、われわれふたりがけんかしたのであって、第三者として客観的に見ているのである。だから

①のジサマ アルイテイグッケワと②のケンカシタッケチーは区別した方がよい。

- ③ タッタについて

タッタは反復の経験を示すことがある。

○ウシロノヌマニ ドンボトリニ イッタッタチー

はそのような経験を表現する。しかし、それだけでなく経験あることを示す表現をする。

○オラモ アノコロ トーキョーニ イダッタ

これは東京に「居たった」というのである。

○オラモ アノヌマデ イッペンダケ ツッタッタ

たとえ一回だけであろうと釣ったったのである。

また強調確認の意をこめてタッタを使用することもある。

○ソニ夕、アフトギ タシ万ニ オめーモ イダッタナー

④ タッタは当地では待遇表現とは関係はない。北陸では待遇表現としてとらえられる。目上の人が行ってあったのであり、うちの弟めが行ったったのではない。

⑤ タッタにケのつくことがある。これはそれなりに区別されねばならないであろう。

○アフトデデ タコアゲシタッタツケ

⑥ そのほか、絵が「飾ってある」と「飾られている」や間違いの字を「書いてしまうんだ」と「書いてしまうだ」の意味の違いなど注意すべきことも多いが、関東・東北のことばをよく理解しておくことも大事であろう。

(いいとよ きいち 国立国語研究所名誉所員)